

○本州中部のトカチスグリ (原 寛) Hiroshi HARA: *Ribes triste* Pallas from middle Japan

本誌 47: 288 (1972) に杉本順一氏はハイスグリ *Ribes procumbens* Pallas が南アルプス北岳で発見されたと報告された。そのもとになった標本の採集者古瀬義氏がその副標本を送って下さったが、それは *Ribes procumbens* とは明らかに異なりトカチスグリに近いものであった。これには歴史的誤りが原因になっている。北岳産の標本は杉本氏のいわれる通り中井: 朝鮮森林植物編 15: 40, t. 7 (1926) のハイスグリと大体一致するが、実はその北朝鮮産のものは *R. procumbens* ではなく *R. triste* Pallas トカチスグリだったのである。更にさかのぼって、Komarov が *R. procumbens* と同定した北朝鮮産の標本 (東大所蔵) も亦 *R. triste* であり、これが中井先生を誤らせることになった。

真の *Ribes procumbens* Pallas は葉の裂片が円味があることが多く、下面に顕著な黄腺点が散在し、花にも小腺点があり、萼には白毛があって萼片はほぼ卵形である。北岳産は葉の下面脈上に毛があるが下面に腺点はなく、花は平開して径 4~5 mm で腺点はなく、萼筒は短かく無毛、萼片は幅広くやや扇形であり、果実はまだ知られていない。これはトカチスグリにあたり、*R. triste* の基準形に比べると上部の葉が深い心脚になり葉裂片と鋸歯がややとがる傾向があるが同一種とみられる。私の見た古瀬氏の標本は no. 167 で杉本氏の引用したものと番号が一つちがうが同じ物であろう。なお北岳にはトガスグリ *Ribes sachalinensis* Nakai もあり、古瀬氏も同日に採集されている。終りに標本を送って下さった古瀬義氏に深謝する。

*Ribes triste* Pallas in Nov. Act. Akad. Sci. Pétersb. 10: 238 & 378 (1797)—Miyabe et Miyake, Fl. Saghal. 158 (1915)—Miyabe et Kudo in Trans. Sapporo Nat. Hist. Soc. 5: 147 (1915).

*R. propinquum* Turcz. in Bull. Soc. Nat. Moscou 13: 70 (1840).

*R. rubrum* L. *δ. bracteosum* Maxim. in Bull. Akad. Sci. St.-Pétersb. 19: 262 (1874).

*R. procumbens* Pallas sensu Nakai, Chôsen-shokubutsu 1: 342, f. 424 (1914); in Bot. Mag. Tokyo 30: 143 (1918); Fl. Sylv. Korea. 15: 40, t. 7 (1926)—Sugimoto in Journ. Jap. Bot. 47: 288 (1972).

Hab. Honshu. Prov. Kai: Mt. Kitadake (Y. Furuse, no. 167, Jul. 21, 1967, fl., TI). Prov. Rikuchu: Nambu (Tschonoski 1865, fl., K, BM).

Distr. E. Siberia, N. Korea, Saghalien, S. Kuriles, Hokkaido, N. & C. Honshu (rare), and N. America.